

市民ぐるみのクリーン作戦を

無料化 環境美化・衛生思想の徹底

ゴミ袋無料化のアンケートは、六百四十八人の市民から数多くの意見・提言があった。行政にたずさわるものにとつては、その一つ一つは貴重な、重味のある意見である。

この、市民の汗のにおい、心の感動が明日の、いな今日からの行政に生き生きと反映されなければならない。

そこで、企画財政課と公害環境課の課長ら担当職員で、内容分析と今後の取り組みを話してもらった。

狂乱状態での無料化実施

▼・ゴミ袋の無料化に取り組んで一年になろうとしています。市長への手紙で寄せられた市民の生の声をもとに、この一年を振り返ってもらいたい。

A・昨年の一月は狂乱の状態でした。(笑い)市長の公約だが、なぜ今すぐ無料配付しないのか。と住民からおしかりを受けました。B・市長の机の上にゴミを置かれたのは驚きました。河川にも不法投棄が絶えず、私たちが作業しているうちにもゴミが投げ込まれました。

住民のモラルと行政のおくれ

F・災い転じて福となす——といいますが、「住民のモラル」「行政のおくれ」が提起され、大きな市民運動へと発展した。

▼・そして、全国で初めてのゴミ袋無料化を行政側がうち出したわけですが、クリーン・パパ、クリーン・ママといったところかな。(笑い)地区で熱心に清掃と取り組んでくれる人も多くいます。

とつた意味も大きいと思うな。

B・道の舗装から施設の設置まで市民の要求・要望は大変多くありますね。しかし、行財政面でそれ

に添えていけない。せめて灰にするものにはお金をかけずということ。気持はわかりますね。

河川監視員やモデル地区の指定も

G・いろんな問題はあっても、まだ、始めたばかりで市民のなかに十分定着していないところもあってね。五十年度は市民ぐるみの衛生思想、きれいな町づくりに取り組んでいきたいものだね。

F・ゴミ袋の無料化は、単にゴミ袋がタダになったということではなく、これを通して「私たちのまち」としての住民自治ができるかどうかにかかっていますね。

A・「川がきれいになったというが住民のモラルの低さをゴミ袋無料化にすりかえたものだ」「無料でない不法投棄するというのは市民のモラルの欠陥だ」という意見もありました。

G・ゴミ袋の中に空かん・ビン類が沢山入っていてね。焼却場で困っています。これは、行政がチェックするわけにいかず、市民の自覚しかない。無責任のようですが、

見や、これからの行政として広く企画すべきものもありました。

B・紙の値段も大分落ち着きました。三十三円が十八円四十五銭になったんですから。それに、もう一度申請書のとりなおしをするなどして、不必要なものは遠慮してもらおうよう行政の責任でPRするなかで、きれいな町づくりをキャンペーンしたい。

A・結局はきれいな町づくり、ゴミ一つない日本一の南国市づくりにあるわけだね。時間はかかってても市民とともに衛生思想を育てていきたいですね。

クリーン・パパ クリーン・ママ

G・ゴミ戦争からクリーン作戦への移行だね。五十年からは河川の監視員を六十人予定しています。監視員という大変なイメージがある一層市民の理解を得るため、住民との肌ふれあいを大切にしたいですね。

E・人間性の薄れているものを対話の中でとりもどしていかなければね。これは、清掃行政だけではありません。

▼・ゴミ戦争は、もともと四十七年の浜改田水門封鎖に端を発したのですが。

C・そうです。毎日「ゴミ」が金網にかかったんです。機械を導入、日曜返上で連日連夜回収。その一方、不法投棄はされるで言語に絶する状態でした。

けですが、当初は四千三百万円というところで、市議会でも議論を呼んだ。

A・そうなんです。他の事業にまわせということで。

F・市長が公約したときは千三百万円でできたんですね。それが狂乱物価で一枚十三円が三十三円に急上昇して四千三百万円という金額になった。

安くなった

ゴミ袋の値段

B・その後、九月の入札で一枚二十七円になりました。また、一万三千世帯のうち三千世帯は返上されましたので、実際の経費は約三千万円といったところかな。

C・それに四月からは一枚十八円四十五銭になりましたので、その後値上りがなければ年間約千九百万円ですむのですがね。

▼・「自分のゴミは自分で始末せよ」「なんでも行政におんぶすべきてない」という意見があった。有料・一部負担を提言しています。

F・財政的にみても何千万円も灰にするのはもったいないという声もありますね。

G・無料化は財政問題も含めて、住民自身にいろんな問題を投げかけたね。この時期にアンケートを

入れないで……燃えないゴミ
台所のゴミ……水を十分切って

- ★決められた収集の日の朝、午前8時まで指定の収集場に出してください。
- ★ゴミ袋には、空ビン、空カンなど燃えないものやスプレーなど爆発の恐れのあるものは絶対に入れしないでください。

ゴミ一つないおらが町……市民一人ひとりの自覚で日本一きれいな南国市にしよう



ゴミ袋の無料化アンケートから

これからの清掃行政はどうする